

応用生態工学会・那覇

マングローブ・河口干潟の保全と その技術に関する フィールドシンポジウム・億首川



億首川マングローブの観光・教育資源，生物・水産資源としての価値を再確認し，その保全のための課題を探る！！

日時：平成22年8月20日(金),21日(土)

場所：1日目(20日) 現地観察会

[億首川 大浦川 漢那福地川 他]

2日目(21日) シンポジウム

[ネイチャーみらい館体験実習棟]

参加費：無料(ただし懇親会は会費制)



主催：応用生態工学会・那覇

共催：(財)沖縄県環境科学センター リュウキュウアユを蘇生させる会

後援：内閣府沖縄総合事務局開発建設部 沖縄県土木建築部河川課 金武町 (社)沖縄建設弘済会

お問い合わせ：(財)沖縄県環境科学センター総合環境研究所内

応用生態工学会・那覇 マングローブ・河口干潟の保全とその技術に関するフィールドシンポジウム実行委員会

(098)875-1941 <http://www.okikanka.or.jp>

開催プログラム

1日目:8月20日(金)

(1)現地観察会 8:30 ~ 15:00

- 1)億首川福花橋集合
- 2)億首川マングローブ
- 3)大浦川マングローブ
- 4)漢那福地川(漢那ダム)マングローブ
- 5)億首ダム見学

(2)懇親会 18:30 ~ 21:30

- ・ネイチャーみらい館
- 多目的ピロティにてBBQ

2日目:8月21日(土)

(1)開会挨拶 10:00 ~ 10:05

(2)シンポジウム講演 10:05 ~ 14:30

- 1)中須賀 常雄(琉球大学・元教授)
マングローブ林の成立条件と
億首川のマングローブ
- 2)諸喜田 茂充(琉球大学・名誉教授)
マングローブ林の水産上の役割と
億首川のマングローブ
- 3)外間 慎仁(ネイチャーみらい館・理事長)
億首川のマングローブ林と
地域のみらい
- 4)大槻 順朗(九州大学大学院工学府)
干潟による河口水温の保全と
その効果
-昼食・休憩・自由交流-
- 5)鍵田 和彦(北部ダム事務所・環境課長)
億首ダム下流のマングローブ林の
保全対策の検討について
- 6)竹村 紫苑(徳島大学大学院先端技術
科学教育部)
億首川マングローブ林の位置づけと
土砂動態・物質輸送

(3)総合討論 14:40 ~ 15:40

- 1)コーディネーター
鎌田 磨人(徳島大学大学院
ソシオテクノサイエンス研究部・教授)
- 2)パネリスト
中須賀 常雄(琉球大学・元教授)
赤松 良久(山口大学工学部・准教授), 他

(4)講評・閉会あいさつ 15:40 ~ 15:45

- 1)香村 眞徳((財)沖縄県環境科学センター特別顧問)



体験実習棟内部

多目的ピロティ

お申し込み

参加ご希望の方は、下記に必要事項を記入の上、FAX又はE-メールにてご送信をお願いします。

FAX:(098)875-1943 E-メール:miyara@okikanka.or.jp (担当:宮良)

参加内容:参加希望内容に を記入してください。

お名前	ご住所	ご連絡方法
参加内容	現地観察会(無料)	懇親会(有料1,000円/人)
		シンポジウム(無料)